

要望書（回答）

1. 「ノーザンバイパー」が昨年度は中止になったにもかかわらず、どのような経緯で米軍所属のオスプレイが苫小牧市上空を飛行することになったのか、防衛施設局に対しあらためて説明を求めること。

【回答】（総合政策部空港政策課、市民生活部危機管理室 担当）

平成30年9月10日から29日に実施を予定していたノーザンヴァイパーは、同年9月6日に発生した北海道胆振東部地震のため中止となりましたが、本市ではオスプレイの苫小牧市上空飛行を確認しておらず、また、北海道防衛局からも、そのような事実はないと伺っているところでございます。

2. 今年度の「ノーザンバイパー」の実施に当たり、米軍所属のオスプレイおよびその他米軍機の苫小牧上空の飛行予定が本当にならないのか防衛施設局に確認を求め、その内容をすみやかに苫小牧市民に公表すること。

【回答】（総合政策部空港政策課、市民生活部危機管理室 担当）

苫小牧市上空の飛行については、北海道防衛局に対して、情報収集をしているところであり、市としては、オスプレイの市街地上空飛行を避けることや飛行情報について早期に情報提供することを申し入れております。

飛行情報を得た際には速やかに市ホームページでお知らせしてまいります。

3. 米軍所属のオスプレイの飛行予定がある場合は、ただちにその中止を関係機関に対し申し入れること。

【回答】（総合政策部空港政策課、市民生活部危機管理室 担当）

今回の訓練につきましては、北海道大演習場及び矢白別演習場で実施され、千歳基地についてはオスプレイの機体整備等のため使用するものであり、訓練では使用しないことを確認しております。

市としては、市街地上空飛行を避けることや飛行情報について早期に情報提供することを申し入れております。

4. 飛行予定がないもしくは明らかにされない中で、オスプレイの飛行が市民などにより目撃された場合は、市としてその事実の把握・確認に努め、明確になり次第すみやかに市民に公表するとともに、米軍および関係機関に対し強く抗議を行うこと。

【回答】（総合政策部空港政策課、市民生活部危機管理室 担当）

千歳基地周辺におけるオスプレイの飛行に際しては、安全面の確保が大前提でありますので、国の責任による徹底した安全対策のほか、市街地上空飛行を避けることなど求めています。

市としては、飛行情報については、市ホームページで公表するとともに、市街地上空飛行を把握した際には、関係機関に申し入れを行うなど対応してまいります。

5. 米軍との訓練に関連し事故・犯罪等が発生した場合、直ちに市民に公表し、対策・対応を速やかに行うこと。

【回答】（総合政策部空港政策課、市民生活部危機管理室 担当）

訓練期間中は、北海道防衛局職員が千歳基地内に常駐し、訓練状況の把握や不測の事態への対応を行う体制を構築しております。

市といたしましても、情報については市ホームページ等で公表するとともに、関係機関と密接に連携を図り、庁内体制をしっかりと整え、市民の安全・安心のために速やかに対応してまいります。